



P T A 新聞 おきなわ

発行
(一社) 沖縄県 P T A 連合会

〒900-0002
那覇市曙2-26-27
T E L (098) 867-3582
F A X (098) 867-0309

責任者 石川 謙

初日の出 (本部町八重岳山頂) 撮影者: 仲間里枝

新年明けましておめでとございます。
平成31年は、沖縄県 P T A 連合会が創立70周年を迎え、第60回沖縄県 P T A 研究大会中頭大会において記念式典を行いました。
戦後間もない昭和22年12月10日沖縄県教育後援連合会として現名護市にて発足し、以来、昭和28年に沖縄県 P T A 連合会、その後、昭和47年の祖国復帰とと



会長 石川 謙

新年のご挨拶
沖縄県 P T A 連合会
会長 石川 謙

もに社団法人沖縄県 P T A 連合会に改め、更に平成13年に一般社団法人に登記し、現在の一般社団法人沖縄県 P T A 連合会と改めて参りました。かえりみますと、時代の移り変わりとともに、本会も名称の変更及び事務局の移転等幾多の変遷を経、現在に至っております。
沖縄県 P T A 研究大会も60回を数え、また、県内小中学生に表現力、情操教育、言語教育の育成を目的とした「童話・お話・意見発表大会」は69回の歴史を刻んでおり、次期開催は70回大会を記念して、初めて離島において「宮古大会」を開催します。
子どもたちの教育環境は、インターネットの普及によりさまざまな事件・事故、

いじめや暴力に巻き込まれることが毎年のようにおきています。このような課題は、P T A だけで解決することができません。家庭・学校・地域社会が役割を明確にし、保護者において、教育の原点は家庭にあることを再認識し、お互いに協力していく必要があります。新学習指導要領における「たくましく生きる力」に子どもたちを育てるために、尚一層の保護者が学び・育つことが大切ですから、P T A 活動を通して学んで行くことができると思います。
今年も、会員の皆様が活動されることを祈念します。



全体会に約七千人が集結



全体会 大嶋 啓介氏による記念講演時の様子

第63回日本PTA九州ブロック研究大会鹿児島大会

明治維新150年 語りもんそ鹿児島で

みんなで成長していくPTA活動

全体会

広報委員長 外間隆史

平成30年10月27日・28日の2日間の日程で、第63回日本PTA九州ブロック研究大会鹿児島大会が開催されました。大会スローガン「明治維新150年語りもんそ鹿児島でみんなで成長していくPTA活動」として、1日目は鹿児島市内8つの会場で分科会が開催され、2日目の全体会では、九州沖縄各県から約7000名を超える参加者が鹿児島アリーナのメイン・サブ会場に集い、表彰式や記念講演が行われました。「九州はひとつ」「学校・家庭・地域における連携・協働の重要性」「PTA活動の大切さ」などが情報共有された大会、来年度大会開催地の福岡県へと思いが引き継がれました。記念講演では、(株)てっぺん代表取締役の大嶋

啓介氏を講師に招き、「大人が変われば子どもが変わる。子どもが変われば未来が変わる」の演題のもと、最初から最後まで大嶋氏から情熱を持って語られる言葉に、会場いっぱい的大会参加者が引き込まれ、笑顔や涙、また元気いっぱい掛け声が会場内に広がっていました。前祝いの法則として、ソフトバンクの孫社長やフィギアスケートの羽生結弦選手も実際に取り入れている方法である「予祝」を勧めてくれました。予祝とは、やりたい事や実現させたい事を、実際に成功した時の事をイメージして最大限に喜んで歓喜し、その時の事を細かく考え、それを脳に焼き付ける方法です。そうする事で、脳は成功へ向かっていくとの事で、会場の参加者全員で、自分のやりたい事や実現させたい事をイメージし、「成功したぞ!」と、実際に予祝を体感して最大限に喜んで歓



大嶋氏と島尻地区の皆さん

喜しました。また、子どもの可能性を伸ばす方法として、お母さんの笑顔が最も大事で、特に家庭の空気が重要であるとの事でした。お母さんが笑顔でいると、子どもはすくすく育つし、子どもは大切な人であるお母さんの為に、本気のスイッチが入るそうです。子どもにとって、お母さんとの関わりは接した時間ではなく、お母さんが輝いていれば子どもは安心するし、例え忙しくても、お母さんが楽しく輝いていれば、子どもは将来に夢を抱くとおっしゃっていました。お父さんとし

分科会参加報告

第1分科会

組織・運営【継続・発展】

那覇市立真和志小学校
PTA副会長 仲程友子

討議題は、「時代に対応した持続可能なPTAの組織・運営」でした。他県の学校でもPTAの人材確保が厳しく、様々な工夫や取り組みを行っていることを知りました。

役割の明確化や分担、仕事の簡素化など環境整理と、PTAの存在価値を認識し、達成感や充実感を得ることで、活動を楽しめるような「負担感の軽減」が大事だと学びました。

第2分科会

研修・啓発活動【学】

恩納村立山田幼小中学校
P T A 会長 松田エレナ

P T A 活動は、「大変・
堅苦しい」イメージがあり
ますが、一歩踏み出し関わっ
てみると、子育てや自身の
学びに繋がるヒントが山ほ
どあります。たくさんの方の素
晴らしいご縁もあります。

人は人と関わることで学び
成長する生き物です。P T
A 活動は子どもたちの為に
頑張っている方もいますが、
一番は自分が楽しむこと、
大人が楽しむP T A として
本校でも楽しく活動できれ
ばと強く思いました。

第7分科会

ネットモラル・

メディアリテラシー

【守る・活かす】

南風原町P T A 連絡協議会

会長 久場文子



第7分科会の様子

ネットモラルとは、和製
英語で「情報モラル」の意
味だそうです。メディアリ
テラシーとは、「情報を処
理する能力・情報を発信す
る能力」の事で昨今、当た
り前のように使われている
単語ですが、果たして意味
を理解して使っているでしょ
うか。私自身、今回の研修
を通して改めて考えさせら
れた問題でした。

現代は多くの情報が、ネッ
トを開けばすぐにでも飛び
出してくる社会です。私が
冒頭で記載した「ネットモ
ラル、メディアリテラシー」
の意味も、ネットを開けば

ポントと飛び出してきました。
今では、これが当たり
前のことですが、実は怖い
ということを確認してくだ
さい。

学校の学習でもネットと
いう言葉を使う機会が増え
てきています。ですが、そ
の中には守らないといけな
いルール、自分で判断しな
くてはならない情報、そう
いったものを、正しく、ま
た、誤った情報に流されな
いようにするためにはどう
するべきなのでしょう。

提言者として登壇された
宮崎県宮崎市立行目台東小
学校では、情報教育を学年
の発達段階を考慮して、学
級担任と情報教育アドバイザー
が協力して指導してい
るとのことでした。また、
アンケート等も保護者に向
けて実施しており、そのア
ンケート結果をもとに、ネッ
トモラル・メディアリテラ
シーの専門家でもある精神
科医の講演会も行ったそう
です。これまでの対応を持っ

ても課題は毎年のように
増えるのかと考えると、本
当に社会をあげて取り組ま
ないといけない問題ではな
いのかと私は感じました。
当たり前が当たり前でない
ことを前提に、私たち大
人もネットの使い方を考え
ていかなければ、子どもた
ちに及ぼす影響もまた、膨
大な数になっていくのでし
ょう。

熊本県合志市立西合志南
中学校の事例では、SNS
のトラブルに巻き込まれな
いようにするために、まず
は保護者にもきちんと理解
をしてもらう目的で、毎年
2月の新入生説明会におい
て、新入生及び保護者に向
けて警察から講師を招いて
SNSトラブルについて説
明があるそうです。これは
すぐにでも他の学校でも取
り組めるのではないかと感
じました。なぜならば、最
近の傾向として、中学生に
なったらスマホやケータイ
を買い与える保護者が増え

るからです。本当に必要か
否か、保護者も一緒になっ
て考えるいい機会になると
同時に、各家庭のルール作
りの参考にもなると思いま
した。色々な学校でも取り
組まれているネットに対し
てのルール作りですが、最
近ではありきたりのテンプ
レートのなルールばかり目
にするように思います。ネッ
トの中では、毎日新しいこ

とが増えているのに、いま
までと同じでは子どもたち
、また、私たち大人もトラブ
ルに巻き込まれることが増
えてくるかと思っています。そ
うならないためにも、普段
からの家族との対話、また、
何かあった時は保護者に相
談しやすい環境づくり、そ
のためにも、まずは手本と
なる保護者の意識を変える
べきではないでしょうか。

平成30年度九州ブロックP T A 協議会表彰

【団体の部】

伊江村立伊江中学校P T A
那覇市立壺屋小学校P T C A

【個人の部】

新嶋 正規 (金武町立金武中P T A)
増子 堅吉 (うるま市立具志川東中P T A)
伊良波 尚美 (那覇市立石田中P T A)
中沼 豊 (糸満市立糸満中P T A)
友利 正治 (宮古島市立鏡原中P T A)
玉代勢 治 (石垣市立石垣中P T A)

文部科学大臣表彰に 糸満市立糸満中学校PTA

日本PTA創立70周年
記念式典が平成30年11月
21日に行われ県内から、
文部科学大臣表彰に二団体、
日本PTA全国協議会表彰
に二団体・個人四名、さら
に特別表彰に個人十五名が
それぞれ受賞いたしました。
表彰団体及び個人は次の通
りです。

阿波連秀敏
(浦添中学校PTA会長)
新垣毅 (島尻地区
PTA連合会前副会長)
新川清孝 (石垣第二中学校
PTA会長)

【特別表彰】

安富祖 勸 (国頭地区
PTA連合会前副会長)

仲村秀樹 (うるま市
PTA連合会元会長)

【文部科学大臣表彰】

糸満市立糸満中学校PTA

【日本PTA 全国協議会表彰】

新垣勝二 (読谷村
PTA連合会元会長)

【団体の部】

名護市立大北小学校PTA

那覇市立松島中学校PTA

【個人の部】

具志堅 勉 (国頭地区
PTA連合会前会長)

中川康司
(嘉手納中PTA元会長)

樋口泰子
(沖縄尚学高等学校付属
中学校PTA前会長)

濱比嘉 健 (沖縄市
PTA連合会前会長)

大嶺 司 (古蔵中学校
PTA元会長)

池原 宏 (港川中学校
PTA会長)

三輪華江子 (港川中学校
PTA元会長)

金城達功 (島尻地区
PTA連合会前会長)

玉城 強 (島尻地区
PTA連合会前副会長)

狩俣勝紀 (宮古地区
PTA連合会元会長)

上原健進 (石垣市
PTA連合会元会長)

城間美喜子 (八重山地区
PTA連合会元副会長)

今回は、文部科学大臣表
彰受賞校PTAより喜びの
コメントを寄せていただき
ました。



式典会場にて 中沼豊
糸満中PTA会長

糸満市立糸満中学校
PTA会長 中沼豊

本年度我が校は70周年
を迎え、周年事業準備日々
奔走しています。

そんな中、日本PTA優
良PTA文部科学大臣表彰
(団体)及び全国小・中学
校PTA広報紙コンクール
佳作受賞の朗報が入り、
11月21日に行われた表彰
式に出席しました。年次表
彰とあわせて日本PTA創
立70周年記念式典も開催
され、臨席された皇太子ご
夫妻からもお祝いのお言葉
を賜りました。このダブル
受賞は大変名誉なこと、
2月に開催される記念事
業に花を添えることができ
ました。

これまでの活動が全国的
に認められたのだと改めて
糸中PTAの皆さんのこれ
までの活躍に感謝していま
す。これからも宜しくお願
いします。

理事会報告

第7回 理事会

平成30年12月21日(金) 県P会館にて開催 【定数：26人中 出席(22人) 委任(4人)】

協議事項

- ①第60回県PTA研究大会中頭大会について
 - 大会宣言(案)・決議文(案)の修正
 - タイムテーブル確認
- ②スマホおきなわルールづくりについて
 - 講師の決定
 - ファシリテーター研修実施について
- ③第69回童話・お話・意見発表大会

報告事項

- ①常置委員会より
 - 調査研究委員会：アンケート調査の進捗状況
 - 健全育成委員会：ポスター配布及び「頼み買い防止」ステッカー考案について
 - 家庭教育委員会：給食センター視察について
- ②創立70周年記念誌編集委員会より
- ③第6回理事会議事録

第69回 沖縄県小中学校童話・お話・意見発表大会 国頭大会 審査講評

(小学校・低学年・男子)
天底小学校

1. 内 容

・話し手や学年に合った童話であり、聞き手に感動を与える内容だった。

・登場人物になりきっている、聞き手は童話の情景を想い浮かべることができた。
・日本童話や民話、沖縄の昔話など、多種多様な内容であった。

2. 音 声

・聞き手によく聞こえる声量で、明るくはつきりしていた。

・声の変化が適切であった。
・間のとり方が巧みであった

3. 態 度

・効果的に童話を表現するためのジェスチャーが適切で、聞き手を感動させた。

1. 内 容

・沖縄の話、動物が登場する話、楽しい話、愉快な話、感動する話など、どれも聴

(小学校・低学年・女子)
兼次小学校



小低・男子最優秀賞



小低・女子最優秀賞

き手を引きつける素晴らしい内容だった。

・原稿に目を通すと、言葉の使い方や文のつながりに違和感があった。指導者は推敲が必要だと思う

2. 音 声

・言葉が明瞭で良く聞こえる声で発表できた。間の取り方が上手だったので、話の内容や登場人物の心情が良く伝わってきた。

・練習を積み重ねてきたことが良く伝わってきた。

・話の終わりまで気持ちを込めて伝えよう。
・余韻が残る終わり方の工夫をしよう。
・後半、調子が早くなる子が出てきた。

3. 態 度

・どの子も落ち着いた態度で発表できていた。

・動作も子どもらしく自然な態度で、表情豊かに発表できていてとても良かった。
・体の向きが片方に偏りすぎる子がいた。

・指導者は、上手、下手をしっかりと押さえた指導をしよう。

(小学校・高学年・男子)
本部小学校

1. 内 容

・自分の体験、経験をもとに自分の生き方を考えるきっかけにしている。

・学年の発達段階に沿った内容となっていた。
・表情や身ぶり内容を伝える上で効果的であった。

2. 音 声

・聞き取れる音声であった。
・語彙の不明瞭な部分が見られ、会話は丁寧にした方がよい。

3. 態 度

・口形に気をつけてほしい。
・さすがに礼に始まり、丁寧な態度で話をしていた。

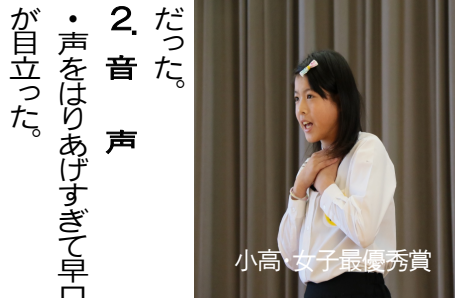
・本部小の3年生と6年生の聴く態度が素晴らしい。
・効果的な表現が適切になされて良かった。

(小学校・高学年・女子)
今帰仁小学校

1. 内 容

・演題と内容が合わないのが見られた。(演題と話の展開がマッチしない。)
・常体の表現があった。(2人)

・意見文が多かった。残念



小高・女子最優秀賞

・声をはりあげすぎて早口が目立った。

・発表が淡々としていて、表現力がほしい

・オーバーアクションがあり、残念だった。
・立ち方が気になる子がい

た。
・時間オーバーで減点され



小学校低学年男子



小学校低学年女子



小高・男子最優秀賞



小学校高学年女子



中学・男子最優秀賞

・どの発表者も堂々としていたし、表情も伝えたいという思いが伝わってきた。

3. 態度

・マイクの使い方の指導が求められる。

・口が良かった。

・素直な発声と自然な語り

2. 音声

・夫が必要である

・題材は良いが、構成に工夫

・の広さを感じさせた。

・題材は多岐に渡り、視点

・でも良かった。

・学年がしっかりと題材をと

・え発表していたことはと

・途中、トラブルがあつて

・も、最後までしっかりと発表

・することができた。

1. 内容

・県大会1年生が出場し、

・2年生、3年生それぞれの

・た子が3名いた。

(中学校・男子)

上本部中学校



中学・女子最優秀賞

・自分の身近な体験を具体的に捉えて、論理的に伝えようとする意見文になっていた。

(中学校・女子)

本部中学校

1. 内容

・抑揚が工夫されていた。

2. 音声

・言葉、発声が明瞭できれいであった。

・「間」をとることが大切。

・語尾が流れてしまうことが気になる。

3. 態度

・しっかりと練習をしてよく覚えて、堂々と伝える態度が素晴らしい。

第69回沖縄県童話・お話・意見発表大会 国頭大会(12/14開催) 審査結果

		地 区	学校名	学 年	氏 名	演 題
最 優 秀 賞	小低・男子	那覇地区	真嘉比小	3	比嘉 優斗	ともだちやもんな、ぼくら
	小低・女子	国頭地区	屋部小	1	泉川 都百	おんぶおばけ
	小高・男子	八重山地区	黒島小	6	下地 琉玄	命どう宝
	小高・女子	中頭地区	天願小	5	吉村 璃恩	私とうちな一口
	中学・男子	八重山地区	石垣中	3	比嘉 健二郎	十五歳の考えるしまくとうば
	中学・女子	中頭地区	普天間中	3	小林 七色	私の幸せ

編集後記

平成最後の年が明け、1月はあるという間に過ぎていきました。「1月は行く、2月は逃げる」とはよく言ったものです。もうすぐ3月が去り「平成」という時代が終わろうとしています。またこの頃のは天候は暑いのか寒いのかかわからず、体調管理にも一苦労です。「変化の時代」に生きる私たち、次の世代へ何を残すかを考え、今日一日を大切に過ごしていきたいです。今号も最後まで読んでくださり感謝いたします。

広報委員 新垣 早苗

広報委員：外間隆史（島尻） 新垣早苗（中頭） 奥間由紀江（中頭） 知念一美（那覇）

通信委員：仲間里枝（国頭） 砂川葉子（宮古） 髯川美穂（八重山）